NAPOLEX

WD-164　ATペダルセットK〈ミッキー〉

取扱説明書

このたびは、ATペダルセットK〈ミッキー〉をお買上げいただき、ありがとうございます。この『取扱説明書』を最後までお読みいただき、内容をご理解された上で正しくお使いください。また、『取扱説明書』は常に車内に保管してください。

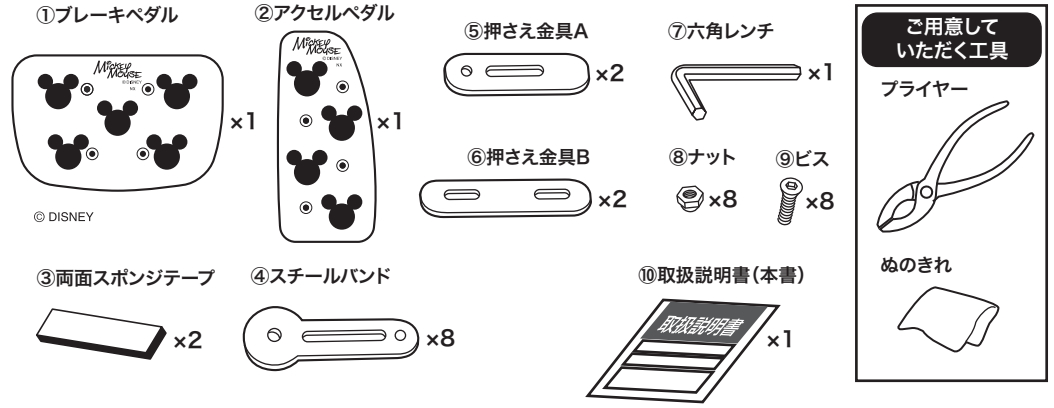
⚠ 警告

■一度取り付けを行ったスチールバンドは折れる恐れがあるため、再使用しないでください。
■濡れたままの靴での運転はしないでください。

⚠ 注意

■ペダル取り扱いの際には手を保護するため、保護手袋をはめて作業してください。
■ペダルの取り付けは人のいない広い場所で行なってください。
■ペダルの取り付けおよび、取り付け状態を確認するときはエンジンを止め、サイドブレーキを引いた状態で行なってください。
■ペダルの取り付け後、人のいない広い場所で徐行による運転操作を行ない、運転操作に支障がないことを確認してください。
■ペダルの干渉を防ぐため、フロアーマットは固定してください。
■運転前にはペダルのずれ、ゆるみ、すべりがないことを確認した後運転してください。
■運転の際には運転に適した靴を使用し運転してください。
■六角レンチ及びプライヤーまたはドライバーを常に車載し、ペダルの取り付けがゆるんだ場合には増し締めしてください。

製品の構成



スチールバンドでのお取り付け方法

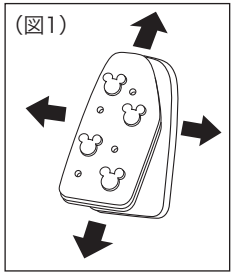
お取り付け方法はアクセル・ブレーキ共用となっています。取付説明図はアクセルペダルです。ブレーキペダルも同様に取り付けを行なってください。**説明の5、6のみアクセルペダル専用のステップ**となっています。

作業の前に

1. 車両側のペダル表面の汚れを中性洗剤などを使用して落とし、両面スポンジテープが貼り付きやすい状態にします。
2. ペダルを車両側のペダルにあて、どの位置にペダルを取り付けるかを決め、その位置を覚えておいてください。(図1)

注意 **エンジンを切った状態**でペダルを車両側ペダルにあてたまま、ペダルを最後まで踏み込んだ状態にし、マットなどのどこにも干渉しないこと、隣りのペダルとの間隔が充分にあることを確認してください。

(図1)



組み立て方法

アクセルペダル

3. ペダルにスチールバンドと押さえ金具Aを付属の六角レンチを使用してビス、ナットで仮止めします。(図2)

注意 仮止めの程度は、スチールバンドが力をいれて図4の方向に動く程度に締めてください。

4. 3の要領ですべての箇所にスチー ルバンドを取り付けてください。
・アクセルペダルは全部で4箇所+押さえ金具A・2本
・ブレーキペダルは全部で4箇所+押さえ金具B・2本

ブレーキペダルは次に7にすすむ

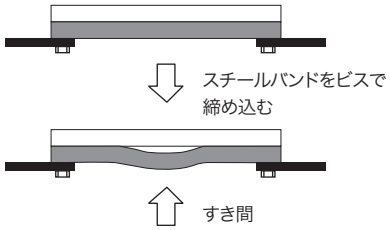
5. アクセルペダルは図3に示す位置に両面スポンジテープを貼ります。
6. 両面スポンジテープでペダルを車両側のペダルの2で決めた位置に貼り付けます。
7. 車両側ペダルの裏側で図4に示すようなスチールバンドをまわしこむのに適した場所をさがし、スチールバンドを動かして角度を調整します。
8. スチールバンドの角度が変わらないようにビスを増し締めします。
9. スチールバンドを手で曲げられる程度まで曲げ、車両側ペダルに仮止めします。(図5)

注意 **エンジンを切った状態**でペダルを車両側ペダルにあてたまま、ペダルを最後まで踏み込んだ状態にし、マットなどのどこにも干渉しないこと、隣りのペダルとの間隔が充分にあることを確認してください。

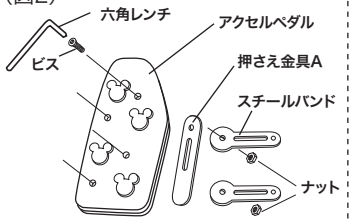
10. ぬのきれを使い**ペダルなどに傷が付かないよう保護**した上から、プライヤーでスチールバンドを締め付けます。(図5・6)

その他・参考

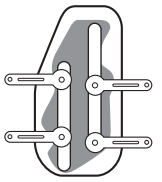
■本品はアルミ製のペダルにノンスリップラバーが組み合わされています。スチールバンドを取り付け、締め込むとペダルとノンスリップラバーにすき間ができる場合がございます。
製品及び性能上問題はございませんのでそのままお取り付けください。



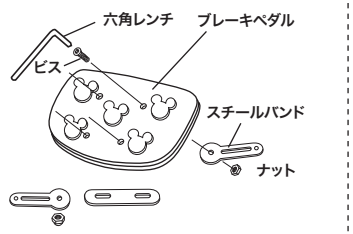
(図2)



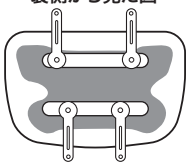
裏側から見た図



押さえ金具は図のようにタテに組み合わせてください。

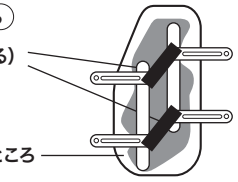


裏側から見た図

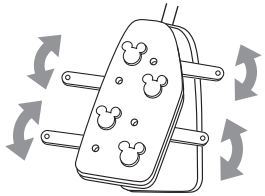


押さえ金具は図のようにヨコに組み合わせてください。

(図3) **アクセルペダルのみ貼る**

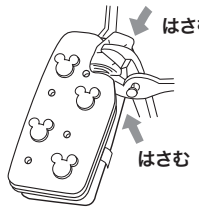


(図4) **角度を調整する**



(図5)

(図6)



(図7)

株式会社 ナポレックス
〒124-0001 東京都葛飾区小菅2-6-22 TEL(03)3602-7311
ホームページ：http://www.napolex.co.jp

10010180